

バージョンと互換性

ソフトウェア / ファームウェア	バージョン	オペレーティングシステム
Videobar VB1 ファームウェア	1.5	-
Videobar Configuration ソフトウェア (旧 : Bose Work Configuration)	1.5	Windows, macOS
Videobar Administration ソフトウェア (旧 : Bose Work Management)	1.5	Windows

ファームウェアのアップデート方法

注意: 複数の Videobar デバイスのファームウェアを一括で更新するには、Videobar Administration (旧名: Bose Work Management) ソフトウェアを使用します。詳細は、ソフトウェアのユーザーガイドをご参照ください。

Videobar のファームウェアアップデート手順は以下の通りです:

- [BOSEPROFESSIONAL.COM](https://www.boseprofessional.com) から **Videobar Configuration ソフトウェア** (旧名: Bose Work Configuration) をダウンロードし、PC にインストールします。
- Videobar の **USB-C ポート** と PC の USB ポートを接続します。
- 同梱の電源アダプタを Videobar に接続し、本体が起動するまで待ちます。
- Videobar Configuration** を開きます。
- Administrator (管理者) アイコンをクリックします。
- デフォルトのパスワード "**Bose123!**" を入力して **Sign in** をクリックします。
- Configuration** (設定) アイコンをクリックすると、現在のファームウェアバージョンがウィンドウ内に表示されます。
 - 最新のファームウェアがすでにインストールされている場合は、バージョンの下に "firmware is up to date" (ファームウェアは最新です) というメッセージが表示されます。
 - 新しいファームウェアが利用可能な場合は、新ファームウェアのバージョン、リリースノートと、**Install** ボタンが表示されます。
- Install** ボタンをクリックします。
- Continue** をクリックしてファームウェアのアップデートを開始します。**Cancel** をクリックすると元の画面に戻ります。

重要: ファームウェアのアップデート中は、Videobar と PC の接続を切断したり電源を抜いたりしないでください。

アップデートが完了すると、進行バーが消え **Install** ボタンが無効になります。

Videobar VB1

改善

- DSPの構成を変更しました。
- マイク性能が向上しました。
- メッセージログを強化しました。

修正

- VB1をUSB抜き差しで切断したり再接続した際、マイク機能に影響が出ないようにしました。
- Videobar AdministrationソフトウェアおよびVideobar Configurationソフトウェア接続時のプロファイル適用や再起動時のUIメッセージ表示に関する問題を修正しました。
- Bluetoothの音量同期に関する問題を修正しました。
- SNMPパスワード要求に関する問題を修正しました。
- FWアップデートのスケジューリングに関する問題を修正しました。
- 再起動後のカメラの状態に関する問題を修正しました。
- 工場出荷時設定へリセット後の証明書署名要求に関する問題を修正しました。
- デバイスを手動で追加する際のVideobar AdministrationソフトウェアでのIPアドレスの一貫性に関する問題を修正しました。
- その他バグを修正しました。

既知の問題

- Intel® Smart Sound Technology (SST)ドライバーを搭載したDell製ノートパソコンのオーディオの問題により、VB1がフリーズしたりクラッシュすることがあります。この問題を解決するには、Windowsのデバイスマネージャーを使用してドライバーを無効にし、VB1を再起動します。
- 古いファームウェア (v1.0-v1.3)のVideobarデバイスは、Videobar AdministrationソフトウェアでIPアドレスを手動入力してDevice Listに追加することはできません。
- Bose Videobar デバイス名には、特殊文字を使用できません。使用可能な文字は、アルファベット (大文字と小文字)、数字、およびハイフン (-) です。
- ワイヤレスEAP接続を設定したVB1の有線接続を無効にする場合は、Videobar Configurationソフトウェアを使用する必要があります。これを使用した場合でもすべてのデータは同期し、各ソフトウェア上の表示に維持されます。(セキュリティ保護されたネットワーク設定の変更に関して、Administrationソフトウェアはネットワーク接続を使用しアクセスしているため、現時点では利用できません)
- ネットワークやUSBに接続していない状態で2時間放置した後に、VB1をMacOSデバイスにUSBで接続しても、低電力/スタンバイモードから復帰しないことが稀にあります。その場合は、VB1の電源アダプタを抜き差しして再起動してからMacOSデバイスに再度接続します。今後この問題が発生しないようにするには、Videobar ConfigurationソフトまたはWeb UIを使用して低電力モードを無効にします (Configurationタブをクリックし、Systemをクリックして、Low Power ModeスイッチをDisabledに設定します)。Videobar ConfigurationソフトウェアまたはWebUIにエラーメッセージが表示されることがありますが、新しいデバイスに接続すると表示されなくなります。